

ひきこもりでお悩みの方へ

～講演会をオンラインで配信します～

ご家族や身近にひきこもりの状態の方がいてお悩みの方向けに、講演会をオンラインで配信します。

ひきこもりは「誰にでも起こりうること」です。ひきこもっている状態をどう考えたらいいのか、ひきこもりのご本人にどう接したらいいのか、ヒントにしていきたいと思えます。ぜひご視聴ください。

オンライン配信

令和6年
2月29日
まで

講演内容

ひきこもりに向き合うヒントを探る ——福祉社会学の視点から



《講師》関水 徹平 氏

明治学院大学社会学部社会福祉学科准教授。専門は、福祉社会学、知識社会学、ひきこもり研究。主な著書に『「ひきこもり」経験の社会学』（2016年、左右社）がある。2021年には、ひきこもり・生きづらさの当事者・経験者が置かれている状況、苦悩や思い、支援への要望などをまとめた『ひきこもり白書』（一般社団法人ひきこもり UX 会議）の発行に関わる。ひきこもりの会の世話人としても活動している。

《講師からひとことメッセージ》

ひきこもりは複雑な問題で、ご家族もご本人も、さまざまな問題に取り囲まれ、見通しのつかない状況に陥りがちです。社会学の視点からのお話は、直接問題を解決できるわけではありませんが、少しでも問題を整理し、ひきこもりへの向き合い方を考えるヒントになれば、と思えます。

配信期間 令和5年10月2日（月）14時頃～令和6年2月29日（木）

対象 どなたでもご視聴いただけます。申込不要

視聴方法 東京都公式動画チャンネル「東京動画」で動画を配信します。

配信期間中は何度でも、また途中からでもご覧いただけます。

パソコンの他、スマートフォンやタブレットでも視聴可能です。

視聴方法の詳細は、裏面をご覧ください。

※視聴に係る通信費等は視聴する方のご負担となります。

※録音・録画・ダウンロード・インターネットへの転載は固くお断りいたします。

東京都ひきこもりに関する講演会

検索



〔問合せ先〕 東京都 福祉局 生活福祉部 地域福祉課 生活支援担当

電話 03-5320-4039 FAX 03-5388-1403

〔主 催〕 東京都

R70

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています

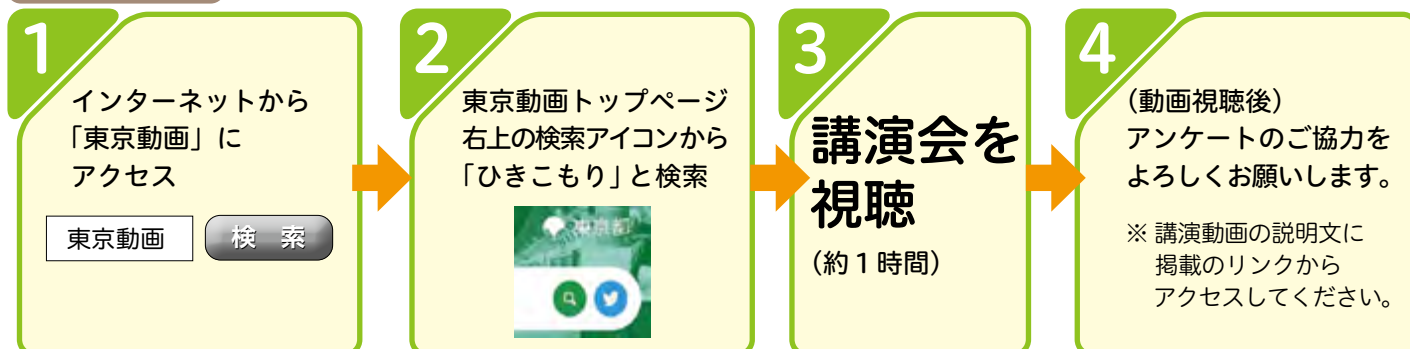
リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

講演プログラム

前半のテーマ：「家族にとってのひきこもり問題を考える」
後半のテーマ：「本人にとってのひきこもりを考える」

視聴方法



昨年度ご視聴いただいた方からの声

令和4年度講演内容：8050 問題～ひきこもり本人・家族の目線から様々な実態を考える～

※講演内容及び講師は、毎年度変わります。

- 本人の好きなことを大事にして同じ方向を向くというところに共感しました。(ご家族)
- 参考になった。今後も家族で話し合いながら、現代の問題としても意識しながら生活していこうと思いました。(ご本人)
- ご本人各々の事情に寄り添った対応を心がけたいと思いました。また、当事者の方も社会で生きていける多様な環境を増やさなければと感じました。(民生委員)
- ひきこもりの状態には様々な誤解や偏見があるが、むしろ人一倍の苦悩と苦労を重ねているのだということが理解できた。(民間支援機関の職員)

東京都のひきこもり相談窓口

東京都ひきこもりサポートネット



電話・メール・訪問・来所により、ひきこもりについての相談をお受けしています。
また、ピアサポーター（ひきこもりの経験がある方やそのご家族）によるオンライン相談も実施しています。

● 電話相談

☎0120-529-528

受付時間：月～土曜日 午前10時～午後5時
(祝日・年末年始を除く。)

● ピアオンライン相談

実施日：原則として第2木曜日・第4火曜日
事前予約制
電話又はメールにてご連絡ください。

● メール相談

受付時間：ホームページから24時間受付
※原則3営業日以内に返信します。

● 来所相談

事前予約制
電話又はメールにてご連絡ください。

● 訪問相談

区市町村を通じて申込みを受付
詳しくはひきこもりサポートネットのホームページをご覧ください。



東京都
ひきこもり
サポートネット